



第 1330 回例会報告

平成25年9月5日(木) 晴

会長挨拶

会長 平山隆勇

新世代のための月間

9月は「新世代のための月間」です。2013 年規定審議会で、標準ロータリー・クラブ定款の改訂が採択され、7 月 1 日から、奉仕部門の名称のみ新世代奉仕が青少年奉仕に変更されました。今のところ「新世代のための月間」は「新世代」がそのまま使われています。

青少年奉仕の重要な部分はローターアクト、インターアクト、RYLA、青少年交換などの青少年プログラムであることは言うまでもありませんが、子供たちへの教育、母子の健康改善、家族の健康な生活の支援そしてポリオ撲滅も青少年のための奉仕です。

“日本のロータリーの父”米山梅吉氏はその生涯にわたり、青少年に手をさしのべました。その米山梅吉という方について、特に新しい会員の皆さまにお話ししたいと思います。先週、溝口会員が「ロータリー米山記念奨学会」についてお話しされましたが、海外からの留学生を支援するこの国際奨学事業こそ、米山梅吉氏の遺徳を記念してできた日本最大の民間奨学事業なのです。この事業は国際奉仕の事業となっていますが、青少年に対する奉仕でもあります。

梅吉は慶応4年(明治元年)東京芝田村町(今の西新橋付近)で士族の三男として生まれました。その後、4歳で父が亡くなり、母の郷里である静岡県三島の伯父の家に身を寄せることになります。梅吉はもともと非常に秀才で、眼のぱっちりした美男子でもあったこともあり、明治12年静岡県の大地主であった米山家に懇望されて養嗣子に迎えられました。以来、米山梅吉と名乗ることになりました。

彼は文才があり、週刊自由投稿誌『穎才新誌

(えいさいしんし)』という全国的に大変売れていた雑誌に盛んに投稿し、その文は夏目金之助(後の漱石)と並んで一番多く掲載されたそうです。その後、旧家の地主として一生を終えることに疑問を感じ、家出をして上京し、働いて 100 円の旅費を貯め、21 歳でアメリカに留学しました。そして苦学の末 8 年後に帰国し、「提督彼理(ペリー)伝」という本を出版しましたが、その題字は、彼が師事していた勝海舟に書いてもらっています。帰国後最初に福沢諭吉に師事しようとしたようですが、結局は勝海舟の塾生になったのです。その後、明治 30 年 30 歳で三井銀行に就職、明治 38 年には三井銀行横浜支店長となりました。この年は梅吉とゆかりのあった明治元年生まれのポール ハリスが、シカゴでロータリークラブをつくり、夏目漱石が、「吾輩は猫である」を出版した年でした。その後大正 6 年、梅吉は財政経済特別使節団の一員としてアメリカに渡りました。このときフランクリン・ルーズベルト大統領、ロックフェラー研究所の野口英世博士と会っています。また、この時彼の案内をした方がダラスロータリークラブの会員であったことから、ロータリークラブの素晴らしさを知り、大正 9 年に日本ではじめて創立された東京 RC の会長にな

■出席報告

会員数	36名
出席対象	33名
出席者数	25名
出席率	75.8%
前回修正	98.8%

■ニコニコBOX

22名	23,000円
累計	230,000円
目標額	130万円
達成率	17.7%

■今週のこぼ

Rotaryでなくnotaryという英語があることを、この年になって初めて知りました。あなた知ってる？

溝口幸二

付記 Notary Public=公証人

■次回のプログラム

9月19日

会員卓話
ロータリーの精神と
国際奉仕活動
国際奉仕委員会

りました。その後は日本赤十字社に尽くした他、ライ病的療養所三千床を政府に作るよう尽力しました。また、癌研究への巨額の援助や結核療養所建設などの社会事業を行い、退職時には郷里の小学校に米山文庫を寄付しています。この他苦学生に学費を出し、特にアジアの留学生を私費で援助しました。その志を継いで、米山記念奨学会が生まれたのです。梅吉は昭和 21 年 4 月 28 日に 78 歳で亡くなるまで、奉仕の精神を持ち続けた銀行家、貴族院議員であり、前述したように、日本にロータリークラブを初めて設立した人物でもあります。彼の偉大さそして、どうして米山記念奨学会というものができたのか、分かって頂けたことと思います。

◇幹事報告◇

【理事会報告】

1)9月例会予定

12日	1331	外部講師卓話 市民新聞代表取締役社長薩摩建氏	クラブ会報・雑誌広報委員会
19日	1332	会員卓話 ロータリーの精神と国際奉仕活動	国際奉仕委員会
26日	1333	「社会奉仕とは」 諏訪圏青年会議所山田昌義副理事長	社会奉仕委員会
30日	1334	3クラブ合同夜間例会(マリオ)詳細後報	会長・幹事

2)西澤会員方の手術のため出席免除が承認されました。

3)クラブ合同例会の会費は 3000 円に決定しました。

【連絡事項】

1. 諏訪 RC よりウィークリーが届きました。

1330 回例会

青少年奉仕委員会

インターアクト地区大会参加報告と
中学校職場体験学習の応援について

小口直久青少年奉仕委員長

インターアクト地区大会「ユニバーサルデザイン
について知ろう」

ユニバーサルデザインという言葉、聞いた事がなかった自分にとって、高校生と共に勉強できたことは、とてもためになり、有意義な時間となりました。



すべての人に優しく、すべての人にわかりやすく、すべての人に使いやすいデザインの製品が、日常のあらゆる場所で普通に使われるようになったら・・・どんなに素晴らしいでしょうか！私たちも、いろいろな人と共存していることを実感し、すべての人に優しい気持ちで接することができるように心がけたいものです。

中学校職場体験学習を応援します！

中学校の生徒たちが、働くことを通じて学ぶこの体験学習は、生徒にとって大変貴重で、大切な時間です。中学校の頃から将来のことを考えることは、決して早くないと思います。自分の希望する職業を体験し、働くことの意義など学ぶことはもちろん、ロータリアンの方々と接することでより自分のやりたい職業の理解を深め、将来の夢や、希望が感じられるような、そんな職場体験学習になれるよう、応援していきます。ご協力、よろしく願います。

* 中学生職場体験受け入れをしていただける方は申込書を小口委員長が持っていますので、声をかけてください。
またホームページにも「中学校職場体験を応援します！」として申込書をアップしてありますのでご利用ください。